

一部事務組合議会報告

吉富町外1町環境衛生事務組合

岩花 寛之

2月27日、組合議会は吉富町フォー・ユー会館会議室で平成31年第1回定例会を開催し、議案審議が行われ次のとおり決定しました。

平成30年度一般会計補正予算(第1号)

債務負担行為追加	1,658万円 (火葬業務委託料)		
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
前年度繰越金	459万円	し尿処理施設建設基金積立金	683万円

平成31年度一般会計予算 歳入歳出総額 7,901万円

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	7,416万円 (上毛町3876万円)	委託料	1,100万円 (循環型社会形成地域計画策定業務)
使用料及び手数料	343万円		207万円 (長寿命化計画策定業務)
			764万円 (汚泥乾燥設備・汚泥脱水機など)
		工事請負費	132万円 (火葬場動力盤機器取換) (経年19年)

豊前市外二町清掃施設組合

廣崎 誠治

3月1日、組合議会は当清掃センター会議室で、平成31年第1回定例会を開催し、議案審議が行われ次のとおり決定しました。

(条例) ○事務局設置条例の一部改正
焼却施設がダイオキシン対策の工事をしてから16年経過し更新時期がきており、事務局に新たに施設計画係を置くため。

平成31年度一般会計予算 歳入歳出総額 4億5,839万円

◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	3億2,100万円 (上毛町6924万円)	議会費	145万円
使用料及び手数料	9,049万円 (廃棄物処理手数料)	総務費	784万円 (人件費など)
財産収入	2,000万円 (資源物売却収入)	衛生費	3億4,573万円 (人件費・塵芥処理費)
繰入金	2,500万円 (財政調整基金)	公債費	1億236万円 (リサイクルセンター建設事業債)
繰越金	100万円 (前年度繰越金)		



▲東上地区
15 ころげまち 議会だより 2019年5月号

三田 敏和 議員

学校給食費の今後は

道免教育長

米の補助など努力しているが要検討



◎ 小中学校の学校給食費は。道免教育長 8月を除き毎月、小学校が4500円、中学校が5000円、但し米の代金を本年度から町が補助しているため、概ね小学校4100円、中学校が4600円の見込みである。

◎ 1食当たりの金額は。教育長 小学校が250円、中学校が280円と算出している。

◎ 過去の給食費の経緯は。教育長 平成19年までは小学校4000円、中学校が4500円、平成20年に5000円値上げをした。その後11年間据え置き、現在に至っている。

◎ 近隣市町の状況は。教育長 豊前市、吉富町は、本町と同額の小学校4500円、中学校5000円、築上町は概ね4400円前後である。

◎ 人件費、食材の高騰、消費税のアップが見込まれるが見通しは。教育長 今は献立の工夫をしながら現在の額で賄えている。今後は現場の声を聞きながら、今の額で美味しく安全・安心な給食が提供できるか検討している。

◎ 価格改定の場合、プロセスは。教育長 教育委員会で素案を作り、教育委員会に諮る。最終的に校長会におろし、PTA総会時に

学校長から提案する流れになる。

◎ 児童・生徒の心身の健全な発達に対し、量・栄養面などについては問題がないか。教育長 献立表は、築上郡内3町の管理栄養士免許を有する栄養指導、京築教育事務所の食育担当指導主事などが築上郡献立検討委員会で作成する。これを基に、町内2名の栄養教諭が工夫を凝らし小中学校の献立表を作成する。栄養面も満たされた献立となっている。

◎ 学校給食摂取基準が、昨年度見直されているが、適用されているか。教育長 今回の改定でエネルギーも大きく変わったが、一番顕著だったのが塩分で基準内に抑えるのが厳しいとの声を現場から聞いている。ただ上毛町は従前から、新たな基準となった数値以下を目標としている。美味しい給食を提供するには限界を感じる数値である。

◎ 学校給食も教育の一環である。指導は 教育長 食育の観点から本人の給食時の状況や、家庭訪問、個人懇談などを通じて得られた、好き嫌いなどの情報をもとに学校と家庭が連携して指導している。

◎ 学校給食で食物アレルギーがある方は何名いるのか。教育長 小学校、中学校合わせて

5名いる。

◎ 保育所はどうか。垂水(英)子ども未来課長 3園で11名いる。

◎ アレルギー対応食の流れは。教育長 小学校入学前の就学時健診での食物アレルギー調査から、保護者、教育委員会、栄養教諭、学校、医療機関などが連携し、対応について協議し、個別取り組みプランなどを作成する。それらに基づいて作成した献立表を保護者に確認するといった万全な体制をとっている。

◎ 学校外活動時の対応は。教育長 修学旅行を例にすると、旅行社を介して対応の可能性を確認している。出来なければ家からの弁当も考えられる。国際交流事業も同等の対応をしている。

◎ 垂水(英)課長 保育所、放課後児童クラブも、同様に支援員、保育士を含めて対応している。

マイナンバーカードの対応は

◎ 上毛町の住民でマイナンバーカードの交付件数は。垂水(勇)住民課長 平成31年2月末で交付件数は640件である。

◎ 人口に対する交付率は。垂水(勇)課長 8.4%である。

◎ 交付率を上げる策は。垂水(勇)課長 カード取得の最大のメリットは、コンビニ交付である。メリットを住民に周知するためのチラシやポスターの作成及び取組み月間として、休日もカードが交付出来るよう窓口対応する。なお、申請時の写真が撮れる自動証明写真機を役場玄関付近に設置する。

◎ 既に導入している他自治体では行政窓口発行より安い価格(手数料)と聞くが上毛町の対応は。垂水(勇)課長 県内23の自治体がコンビニ交付サービスを導入している。約半数の自治体が窓口交付より安い。総務課(財政)と協議して決定する。



▶設置する自動証明写真機